

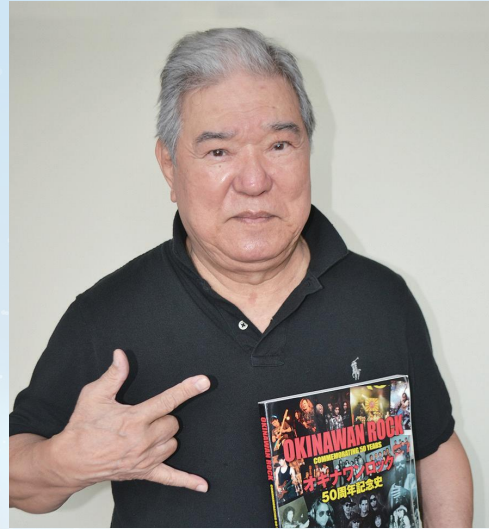
まちの話題 ～オキナワンロックの発展を支える人～



オキナワンロックの普及と活動支援、若手の人材育成を続ける喜屋武幸雄さんに話を伺いました。

ジーンズにポロシャツの襟を立て、力強い声で話す姿は80代とは思えない、オキナワンロッカー!というパワーを感じさせる喜屋武さんは、戦後の米軍統治下でアメリカ文化の影響を受け混乱したコザの街で、ジュークボックスの洋楽を聴きながら育ち、ロックに目覚め、コザを拠点に音楽活動を始められたそうです。

現在も、音楽イベントの企画運営や、文化振興に関わるアドバイザーとして活躍されている喜屋武さんは「コザは、柔軟だから自由な発想が生まれる。ロックに限らず民謡、芝居、お笑いなど、新しい文化が生まれる街、文化発祥の地がコザだ!」と熱く語り、「コザの街とアメリカ～に育てられた。これからもコザと共に生きるし、若手を育てるためにも『コザは柔軟に異文化を取り入れ、自由にさせるところ』であることを大切にしてほしい。」とコザの将来に思いを馳せていました。



ぎゃん ゆきお
喜屋武 幸雄 さん

(沖縄県ロック協会事務局長／沖縄県音楽文化振興会理事長)

(取材:玉城 千恵美)

沖縄県ロック協会事務局 TEL.098-932-1638

お問い合わせ／文化芸能課 TEL.098-939-1212 (内線 3550)

防災まめ知識



vol.8

～津波からの避難のしかた、避難する場所を知る～

津波警報や大津波警報が発表された場合、「より早く」「より高く」「より遠く」へ逃げよう!

※避難する時間がない場合は、近くの津波避難ビルや高い建物へ避難してください。

■津波を見てからの避難では間に合いません

津波はとても速く、海の深い所ではジェット機なみ(時速約800km/h)、陸地に近い所でも自動車(時速約40km/h)くらいの速さで襲ってくるため、**早めの避難が重要です。**

そのためには、日頃から災害に備えて『逃げる場所』を決め、情報収集手段(テレビ、ラジオ、SNS等)の確認、水や食料および必要物資をいつでも持ち出せるように準備しておくことが大切です!

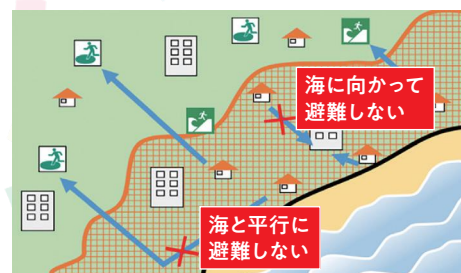
■「車で逃げれば大丈夫」と思っていないですか?

車を利用した場合、渋滞などにより円滑に避難できない可能性があります。東日本大震災の際は車で避難をしたため、津波に飲み込まれ多くの犠牲者が出ました。

歩行に支障がある方等以外は、原則、徒歩で避難しましょう!

避難の時の注意点!

- ・海に向かって避難しない
- ・海と平行に避難しない
- ・原則、車で避難しない(渋滞の恐れあり)



お問い合わせ／防災課

TEL.098-939-1212 (内線 2047・2349)

